



## Ⅱ 47期 探究基礎(B探究)スタート!

2学期の探究基礎のテーマは「協働」です。

異なる立場で活躍する人たちと、互いの立場をふまえながら協力して何かを生み出したり、課題を解決したりしていきます。来年3月に開催される成果発表会にむけて、10のプロジェクトに分かれてチームで協働して探究し、専門家の助言をもらいながら課題を深めていきます。B探究・学びのポイントは次の二つです。

### POINT①「協働」して課題解決の「型」を習得する

- ☑ 自己の関心や得意を社会的・学問的課題に関連させる方法を学ぶ
- ☑ 学校外の他者と協働する…課題を共有し、立場の違いをふまえて課題解決に挑む
- ☑ チームでの探究手法を身につける…合意形成・計画立案・目標設定
- ☑ 論旨のプロット立てを身につける…発表資料の作成

### POINT② 探究手法を「組み合わせる」

- フィールドワーク ○実験 ○アンケート調査
- 参与観察 ○専門家にアプローチ
- 都立図書館などを利用した文献調査
- 博物館や資料館などの見学・調査
- 大学の公開講座などへの参加 ○統計を活用

↑これらの探究手法の中から2つ以上を組み合わせます。

### 令和4年度のプロジェクトと連携先の皆様(G学問探究型 K課題解決型)

- G1 生物探究プロジェクト (道上達夫 東京大学大学院総合文化研究科教授・研究室の皆様)
- G2 政治とメディアとデモクラシープロジェクト(牧原出 東京大学先端科学研究センター教授)
- G3 生態心理プロジェクト(佐藤由紀 玉川大学 リベラルアーツ学部教授)
- G4 ゲーム理論プロジェクト (渡辺隆裕 東京都立大学経済経営学部教授)
- K1 オープンデータ活用プロジェクト  
(高間康史 東京都立大学システムデザイン学部教授・日本オラクル(株))
- K2 内視鏡によるがんの早期発見・早期治療プロジェクト(オリンパス株式会社)
- K3 超小型衛星プロジェクト (株式会社インフォステラCEO倉原直美様)
- K4 地域活性化 マチ作りプロジェクト (京王電鉄沿線価値創造部・八王子市役所)
- K5 超高齢社会と医療デザインプロジェクト (北原国際病院)
- K6 英字新聞プロジェクト (英字新聞ジャパントイムズ)



### Voice

プロジェクト選択にあたっては「探究Aを通して自分が理解したこと(何に興味があるのか、何が得意なのか、どんな研究手法を学びたいか)」をよく考えることを大切にしました。

■ 凶人のジレンマを調べた際、A探究で調べたものと少し重なる部分があり、興味があるから。また、現代の国語でパノプティコンについて言及した文章を読んだことも動機のひとつ。【ゲーム理論プロジェクト】

■ A探究で湧き水を使って地域を活性化させるというテーマで探究を進めたところ、より一層地域への関心が高まり、地域を活性化させたいという思いが強くなったからです。【地域活性化マチ作りプロジェクト】

■ 自分は将来自動車エンジニアになることを目指しているが、自動車社会である今、様々な技術や社会問題と沢山結びつくものがあり、よりグローバルに自動車(社会問題解決)の在り方を考える必要があるため、宇宙からの考えをたくさん取り入れていきたいと感じたから。今でも自動車にはGPSが使われることがあり、衛星との関りは深いため、様々な技術や社会問題の課題解決に関して、宇宙からアプローチしていきたいと強く思ったから。【超小型衛星プロジェクト】

■ A探究で医療関係のテーマについて調べてまとめるうちに医療に興味を持った。またこれから私たちの世代に大きく影響を与えるであろう超高齢社会の問題について課題を考える、サービスなどの在り方を考える、ことは私たちが暮らしやすい社会をつかっていくことに役立ち、自分のためにもなると思った。さらに現場の医療関係者からお話が聞けるのはとてもいい経験でなかなかないことだと思った。【超高齢化と医療デザインプロジェクト】



### B探究・授業のようす ～ 超高齢社会プロジェクト～

(左)統計データの活用の仕方を学んでいます

(右)超高齢社会に生じる課題をたくさん挙げ  
項目ごとにグルーピングしています



## Ⅲ 46期 課題探究(C探究)ゼミ活動のようす

A探究

B探究

★C探究

C-Adv

46期生は1学期に引き続き、自分の立てたリサーチクエスチョンについて深めつつ、テーマに合う仲間を探し、本格的なゼミ活動をスタートさせています。これから1月の論文提出・3月の成果発表に向けて、研究を進めていきます。

### 46期ゼミと、RQ(リサーチ・クエスチョン)の一部を紹介します (7月初旬提出より抜粋)

#### ○哲学歴史ゼミ

「鉄砲の伝来と普及によって日本の城はどのように変化したのか？またその変化が人々に与えた影響とは？」

#### ○生物ゼミ

「ネズミイルカがバンドウイルカと比べて、飼育される施設が少ないのはなぜか？」

#### ○工学ゼミ

「翼面積と揚力、飛行距離、飛行経路の関係」

#### ○数学ゼミ

「かぎ針で正確に近い星形を編むにはどうすればよいか？」

#### ○自然科学その他ゼミ

「身近にあるマイクロプラスチックとは？」

#### ○芸術ゼミ

「フェルメール作『窓辺で手紙を読む女』は誰が改ざんしたのか？」

#### ○スポーツゼミ

「バスケットボールにおいて利き手と利き目はツーハンドシュートのズレにどのような影響を及ぼすのか？」

#### ○言語ゼミ

「日本語の一人称代名詞が多い理由は何か？」

#### ○現代文化ゼミ

「日本のベストセラー児童文学における、主人公の乗り越えるべき課題とは何か。」

#### ○医療ゼミ

「地震や土砂崩れなどの災害が近年多く起こっている日本で、どのような医療体制を整えていかなければならないのか。」

#### ○教育ゼミ

「小学校教育で冠婚葬祭について指導をするべきか？」

#### ○心理ゼミ

「幼い同士のきょうだい喧嘩を通して子は何を学び、親はどのように教育すべきか？」

#### ○社会学ゼミ

「自転車のハンドサインの有効的な活用方法とは何か？」

#### ○政治学ゼミ

「八王子を持続可能な街にするためにはどのようなまちづくりが効果的か、他地域の事例を参考にしながら探究していく」

#### ○経済学ゼミ

「マッチング理論から考える、アメリカ、ロシア、中東の各視点から見て現在の原油高を抑えるにはどのような方法があるか。」

#### ○社会学その他ゼミ

「まだ人慣れの済んでいない猫の里親を増やすには」



3年生が昨年度行った探究について、京都大学・創価大学の先生や学生の方々に説明する会に参加しているときのようすです。



各ゼミでは、自分の探究課題について発表しながら、課題を共有していきます。各ゼミでは、東工大・東大・一橋大・学芸大に進学している卒業生TAの方や都立大の大学生、院生の方から研究のしかたや進め方など、専門的な助言をいただきます。

## 夏のイベント報告！

名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所オンラインスクール  
「まなびのつばさを広げよう」

人口の増え続けるアフリカの深刻な食糧不足の大きな原因。それは、別名「魔女の雑草」と呼ばれ恐れられる「ストライガ」という寄生植物です。ストライガとはどんな植物か、あるいはストライガを根絶する画期的な方法について八王子東一名古屋大学一アフリカ（研究施設）をインターネット結んで現地の深刻な課題について考えました。



## ●都市農地DE伝統野菜プロジェクト

9月10日（土）始動！

4年前から近隣の地元農家と連携して、伝統野菜の一つである高倉大根の栽培に取り組んでいるこのプロジェクトも今年でもう4年目です！9月は耕運と種まき、10月8日には間引きを行いました。活動を通じて都市と農地、農業の未来を考えていきましょう。



## ●北原リハビリテーション病院見学会



8月22・23日、1～3年生(16名)が参加しました。

この見学会は探究活動の一環として、先端的な取り組みを行っているリハビリテーション施設を見学することで、医療課題をより深く考えたり、進路学習の一環として、医療現場の実態を見学したり、医療従事者のお話を伺うことで、進路を考えてみることを目的にしています。

Voice

- 患者さんが大切にしていることを、再び出来るようにするという、患者の意志を尊重する方針だった。
- 病院と患者さんに思わせないことでリハビリの効果があることがわかった。

## 在校生へ これからのイベント紹介 1階のホワイトボード&Teamsの案内もチェック！

### ●日本学術会議主催 高校生シンポジウム 人類学者と語る人間の「ちがい」と差別

2022年11月19日（土）午後2時00分～午後5時

基講 講演 山極 寿一（人間文化研究機構総合地球環境学研究所長）

話題1 海部 陽介（東京大学総合研究博物館学術助）

話題2 小金漣 佳江（東京大学大学院理学系研究科生物科学助教）

話題3 竹沢 泰子（京都大学人文科学研究所助教）

話題4 中谷 文美（岡山大学文明・環境学研究所助教）

第二部 全体討論 人類学者 × 高校生 質疑応答

動物に対する誤解から人間社会の本質を考える

10万年の人類史から読み解く人間の多様性

多様性が生まれるその背景-遺伝学の視点から-

創られた「人種」「民族」が残したもの

「女」「男」カテゴリーの「ちがい」が意味するもの

10月28日（金）までにFormsで申し込んでください。